

平成20年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）  
事後評価結果

研究課題名	フォトニック結晶工学の深化とその応用に関する研究	研究代表者名 (所属・職)	野田進（京都大学・大学院工学研究科・教授）
-------	--------------------------	------------------	-----------------------

**研究課題の総合的な評価**

該当欄		評価基準
○	A+	期待以上の研究の進展があった
	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

**評価意見**

本研究課題では、フォトニック結晶に対して、人為的な欠陥導入や格子点の構造制御を行うことにより、自在な光子制御を目指す新学問領域「フォトニック結晶工学」の深化を目的として、9項目の具体的な課題を設定して研究を進めた。この結果、ほとんどの項目に関して十分な成果を得ており、本グループの先導性を揺るぎないものにした。また、明確な指針のもとに、理論的基礎からプロセス技術開発、具体的応用を目指したデバイス考案・開発まで極めて活発な研究が展開され、当初計画の目的のほとんど全ての項目において優れた研究成果が得られており、目的を十分に達成している。学術創成研究費として十分に意義のある成果であり、期待以上の進展があったと高く評価できる。